

miratap

洗面化粧台

リクレール

取扱説明書（保証書付） 02-LIC01T-02

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

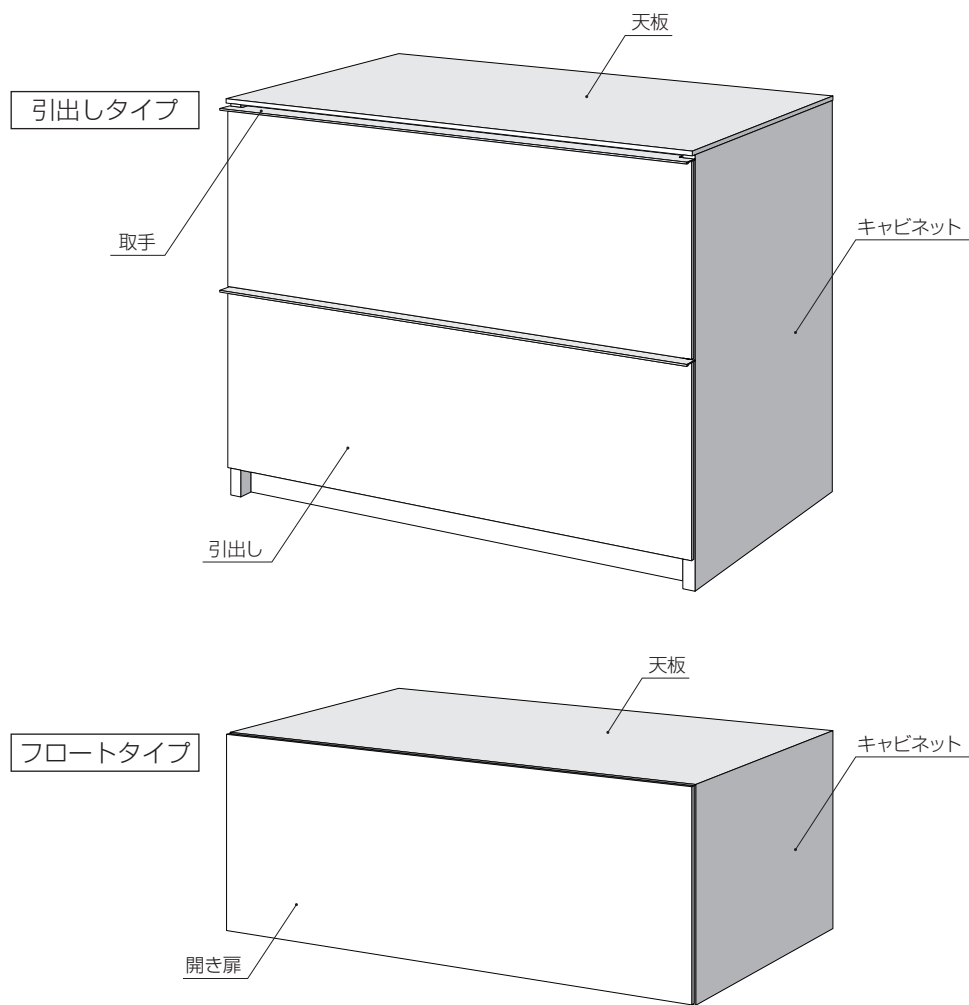
「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。

1 各部の名称

◎リクレール



耐荷重については、下記の重量をお守りください。

- | | |
|-----------------|---------|
| ・引出しタイプ（一ヶ所につき） | 12kg まで |
| ・フロートタイプ | 12kg まで |



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



凍結が予想される際は（寒冷地仕様の水栓の場合）配管と水栓の水抜き操作をしてください（寒冷地仕様以外の水栓の場合）水栓から少量の水を出したままにしてください。

凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。詳細については水栓の取扱説明書をご覧ください。



固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤・ヌメリ取り剤は、使ったり近づけたりしないでください。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。



化粧品の使用について、毛染液、マニキュア液、除光液などがついた場合には、必ず拭き取ってください。

変色・変形・破損の原因となります。



ヘアピン、カミソリの刃などを放置しないでください。

サビが付着して取れなくなる場合があります。



引出しおよび扉にぶら下がったり、大きく開けすぎたりしないでください。

破損やケガをするおそれがあります。



洗面台の上に乗ったり、過度にもたれかかったり、衝撃を与えないでください。

変形や破損でケガをするおそれがあります。



引出しの開閉時、レールにさわらないでください。

ケガをするおそれがあります。特に小さなお子さまには注意してください。



扉・引出しに規定重量以上の物を入れないでください。

商品の歪み、破損・落下の原因になることがあります。



扉・引出しが傾いたりガタついたときは、レール、丁番、ヒンジの調整を行ってください。



扉・引出しの開閉時、手足をぶつけないよう注意してください。

ケガをするおそれがあります。



水栓から湯水を出しっぱなしにしないでください。

湯水があふれて大きな損害になる原因になります。



水栓を全開吐水しますと水はねで、周囲が濡れる場合があります。

水量が多い場合は止水栓を調整してください。



金属たわしなどや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しないでください。

細かいキズが付き、光沢がそこなわれるおそれがあります。



湿度が高い時期に氷や井戸水をためて放置しないでください。

結露し、キャビネットを傷める原因となります。



排水口に直接熱湯を流さないでください。

破損や水漏れのおそれがあります。



水栓には、専用の取扱説明書が付属しております。必ずお読みにになり使用上のご注意やメンテナンスを守り、正しくお使いください。



混合水栓をご使用の際は、必ず水から出してください。

やけどをするおそれがあります。



扉・引出し・天板には乗らないでください。

落下し、ケガをするおそれがあります。



火のついた物（タバコ、マッチなど）を置いたり近づけたりしないでください。

こげあとがつくおそれがあります。



塩ビ系ゴム製品を放置しないでください。

輪ゴム、ゴムベラなどを長時間放置すると変色のおそれがあります。

2 お手入れ方法

■キャビネット・扉のお手入れ

《通常のお手入れ》

使用後には必ず乾いた布でから拭きしてください。

《汚れているとき》

- ① 布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて、汚れを落としてください。
- ② 水を含んだ布で洗剤を拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。
- ③ 隅にたまったゴミはブラシで取り除いてください。



- キャビネットや扉に付着した汚れなどを取除くときは、強くこすらないでください。（キズや光沢変化の原因になります）
- キャビネットや扉、取手上面、キャビネット内側のパッキンが水で濡れたときは、すみやかに拭き取ってください。（ふくれやはがれの原因になり、また内部に水が入る場合があります）
- 金属たわしや粒子の粗い粉末クレンザー類を使用しないでください。（キズがつく恐れがあります）
- 漂白剤、硫酸、塩酸などは絶対に使用しないでください。（変色や光沢が無くなる恐れがあります）
- 家具用ワックス、シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。（変形や変色の恐れがあります）
- 塗装面にセロテープ、ガムテープを貼らないでください（剥がした後、汚れが残る恐れがあります）



- 濡れたまま放置すると、キャビネットや扉がふくれたり、内部に水が入るおそれがあります。取手上部（引出しタイプ）、キャビネット内部パッキン（フロートタイプ）の水濡れにご注意ください。

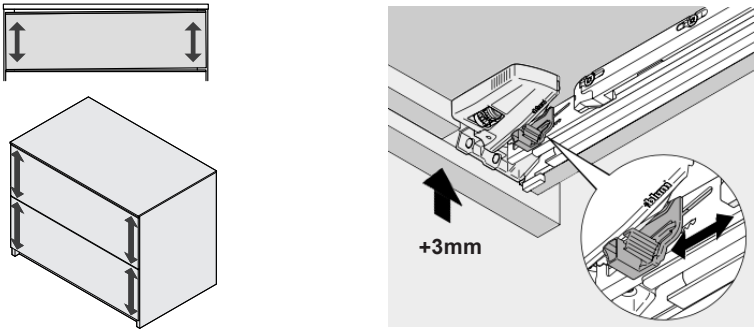
3 各部の調整

《各部の調整》

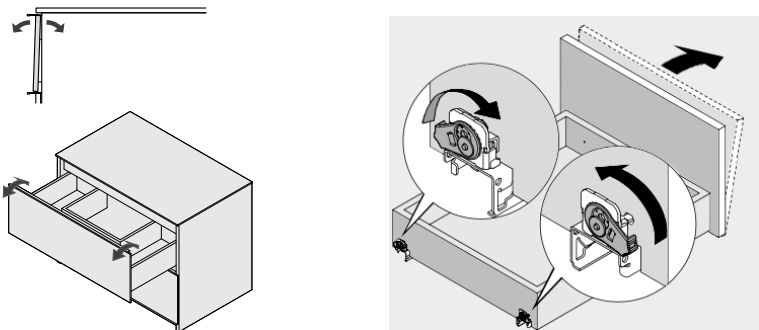
設置完了後は、扉や引出しなど、がたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。調整が必要な場合は、下記の要領で調整してください。

《引出しレールの調整》（引出しタイプ）

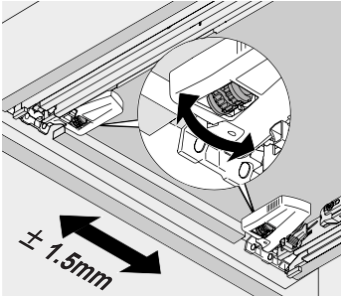
- ・高さ調整
着脱クラッチのつまみを操作することで、扉の上下調整ができます。
※ 扉が下図のように傾いた場合に調整してください。



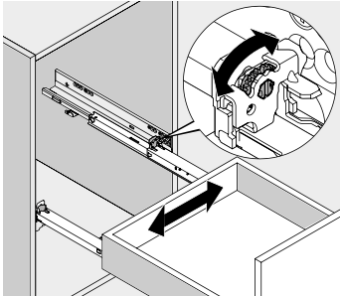
- ・傾き調整
レール後方のつまみを操作することで、扉の傾き調整ができます。
※ 扉が下図のように傾いた場合に調整してください。



- ・左右調整
引出し前方着脱クラッチで左右調整を行ってください。



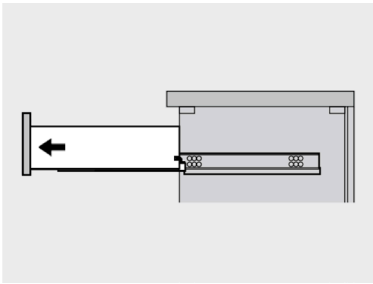
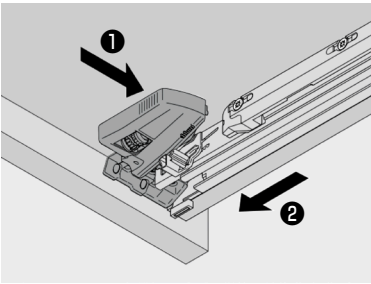
右側レール後部の調整を行ってください。



※ 引出し前方着脱クラッチで左右調整を行った場合、右側レール後部でも同じ向きに調整をして頂くと、走行性能の安定が保たれます。

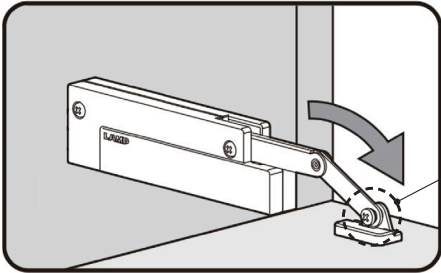
《扉・引出しの取外し方》
（引出しタイプ）

- ①を押し、引出しを取外してください。

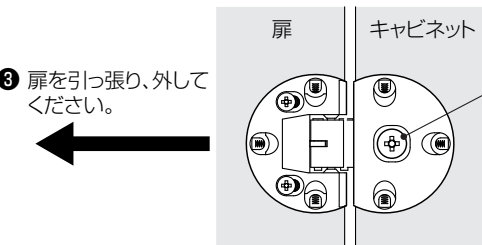


（フロートタイプ）

- ① ② ③ の順で、扉を取外してください。



① ヒンジの扉側ネジを外してください。

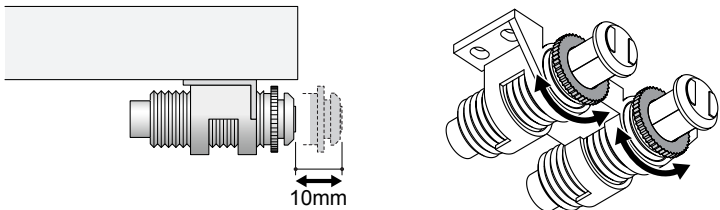


② 丁番のキャビネット側ネジを外してください。

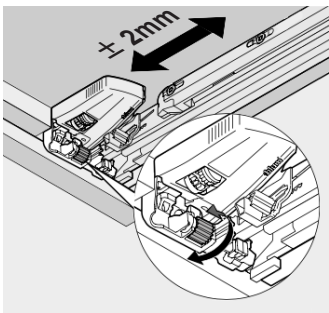
- ③ 扉を引っ張り、外してください。

《プッシュラッチの調整》

微調整が必要な場合は、マグネットを手動で回して飛出し代を調整してください。
※ 10mm 調整可能

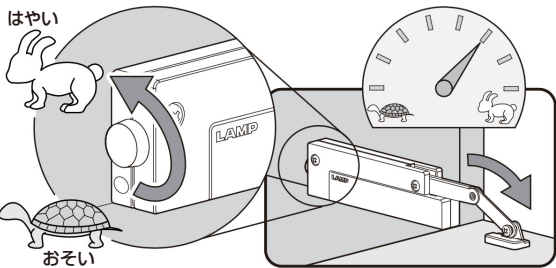


- ・奥行調整
着脱クラッチの下図部分を回転させ、奥行調整を行ってください。



《開き扉の調整》（フロートタイプ）

- ・開き速度の調整
ステー本体の奥にある調整ネジを回すことで、扉の開き速度が調整できます。
※ 扉を少し持ち上げると、調整ネジが回しやすくなります。



- ・かぶせ量・すき間・左右の調整
下図を参考に各調整を行ってください。

